

REBORN

蘇る名刀

展覧会名： REBORN 蘇る名刀
会 期： 2019年1月7日[月]～2月24日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日
入 館 料： 一般・大学生1,000円 小・中・高校生500円
*毎週土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、文化庁、三島市、三島市教育委員会
後 援： 静岡県教育委員会
助 成： 三島信用金庫
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社

展覧会の趣旨

佐野美術館にて、2019年1月7日[月]から2月24日[日]までの期間、焼身^{やけみ}となって再刃^{さいは}された刀剣に焦点を当てた初の試みとなる展覧会を開催します。

大坂城落城、明暦の大火、関東大震災一歴史の中で幾多の刀剣が焼失しました。本展は火に包まれ焼けたながらも奇跡的に救い出され、再び光り輝く姿を取り戻した刀剣を中心に、国宝・重要文化財6点を含む約50件を展覧します(会期中一部展示替えあり)。

長い歴史の中で様々なドラマを目撃し、傷つきながらも蘇った名刀の「今の姿」をご覧ください。

展覧会のみどころ

信長・秀吉・家康が日本中から集めた名刀の数々が、戦乱や天災によって火に包まれました。しかし刀剣はその出来栄とともに伝来も重要な評価の要素であり、再刃で生まれかわった刀剣は悲劇の歴史を書き加えられ、再び家宝として大切に守り伝えられてきたのです。

幻の名工・助平^{すけひら}の太刀、本年1月に約40年振りの展示で話題となった不動行光^{ふどうゆきみつ}をはじめ大坂長銘正宗^{ちやうめいまさむね}・獅子貞宗^{ししだむね}・義元左文字^{よしもとさもんじ}・骨喰藤四郎^{ほねむすしろう}・兎手柏包永^{このてがしわかねなが}など名物刀剣の数々、波瀾万丈の名刀が揃います。

さらに文化財保存、刀剣の再生といった観点より、考古の分野から平安時代に中尊寺金色堂に埋納された刀等もご紹介します。

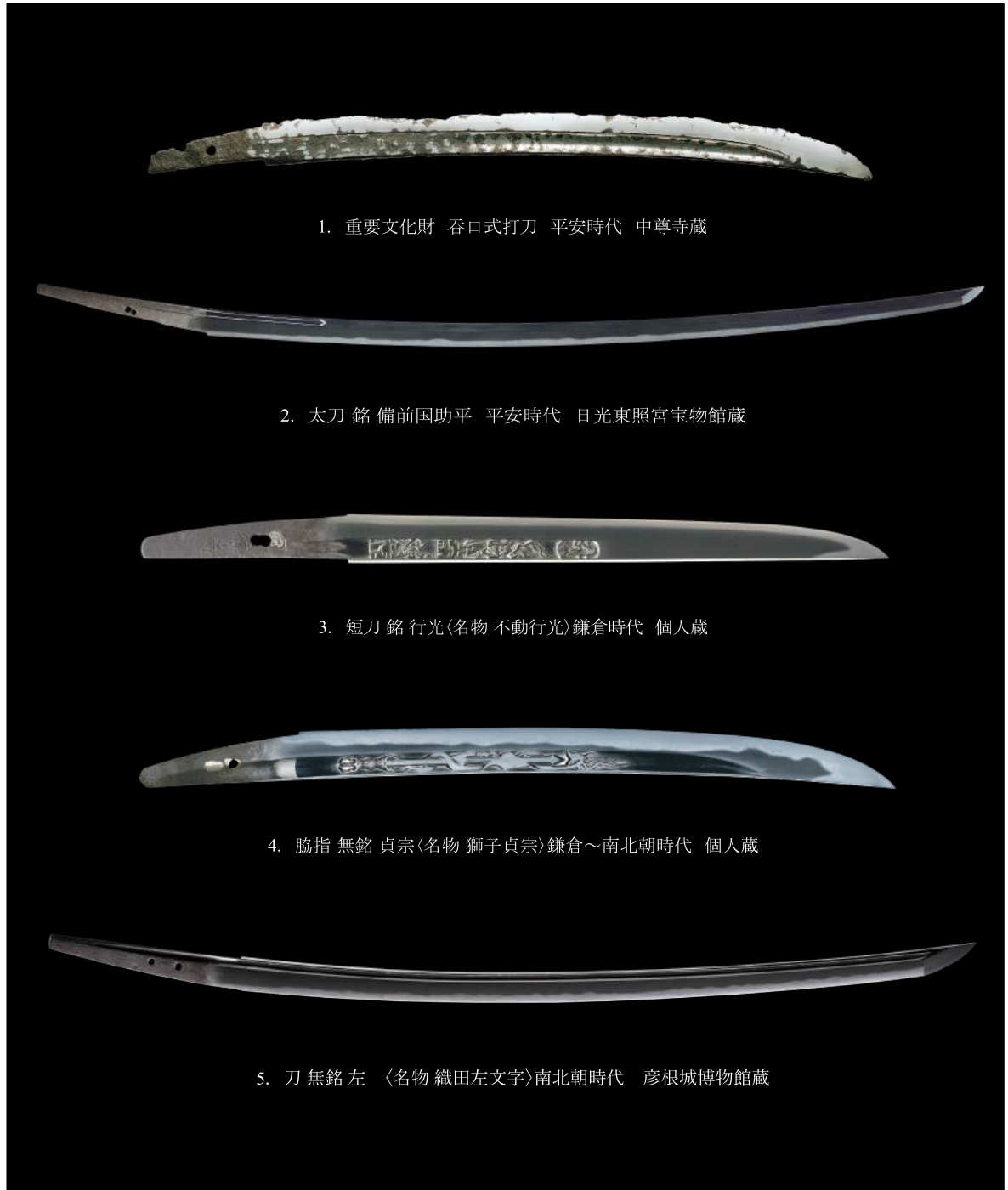
主なイベント

◆スライドレクチャー「焼身の刀剣について」
1月20日(日)13:00～14:00 / 15:00～16:00

広報用画像

本展の紹介記事を掲載される場合にのみ、1～5の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1. 重要文化財 呑口式打刀 平安時代 中尊寺蔵

2. 太刀 銘 備前国助平 平安時代 日光東照宮宝物館蔵

3. 短刀 銘 行光(名物 不動行光)鎌倉時代 個人蔵

4. 脇指 無銘 貞宗(名物 獅子貞宗)鎌倉～南北朝時代 個人蔵

5. 刀 無銘 左 (名物 織田左文字)南北朝時代 彦根城博物館蔵

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <http://www.sanobi.or.jp> E-mail koho@sanobi.or.jp